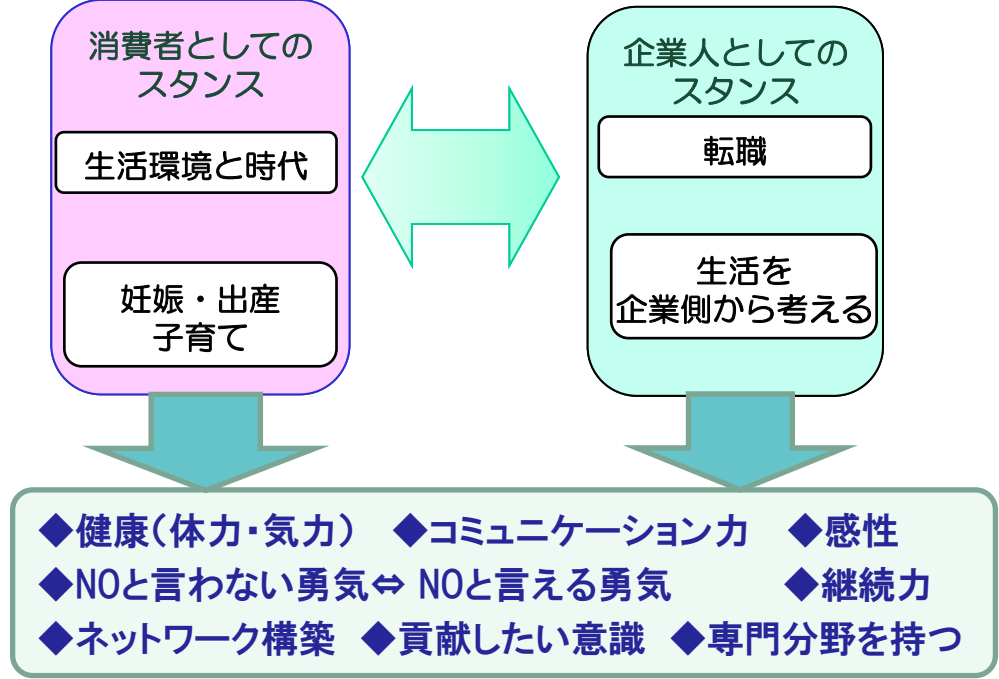


テーマ: 「社会人になるための第一歩」 “今、仕事がおもしろい”

日時: 2017年10月24日(火) 9:10~10:40
場所: 相山女学園大学 現代マネジメント学部棟
参加者: 大学生20名
担当教授: 東 珠実 先生

【講義内容】
1. 日本ヒーブ協議会とは
2. 自己紹介
3. 今までの職歴で学んだことを中心に社会人になる前に必要な事について、経験を踏まえ説いた。

正会員の高野逸子が講義を行いました。



【東教授からのコメント】

「基幹演習II」では、「社会人になるための第一歩」と題し、ご自身のご経歴とともに、これから学生たちが生涯を見通しながら仕事にかかわっていくうえで大切にすべきことを、具体的かつ丁寧にお話いただきました。高野様のチャレンジを続ける気力や行動力、そして高野様が掲げられた健康、コミュニケーション力、感性、NOと言わない勇気、NOと言える勇気、継続力、ネットワーク構築などのキーワードは、学生たちの心を大きく揺さぶるものとなりました。通常の大学の授業では学ぶことのできない多くの貴重なお話を伺うことができました。このような機会をいただきましたことについて、高野様はじめ、関係機関の皆様へ、改めまして、厚く御礼申し上げます。

学生からの感想 (一部抜粋)

将来自分の役に立つお話ばかりでした。私も将来どのような企業に就職するかまだわかりませんが、働くために必要なことや大切なことを学びました。学校や会社で教えられるようなことではなく自分で気づき身につけていかなければいけないこともあるということもわかりました。また高野先生のいままでの人生のお話を聞いて憧れを感じました。私も社会の一員として活躍できる女性になりたいです。

高野先生はご自身について非常に分析をされていて、そうした自己理解が仕事をする上で重要となると感じました。現在私は自分の性格も十分に理解できておらず、熱中できるものも見つかっていません。今回のお話を契機に自分を見つめ直し、夢中になれるものを探したいと思います。

カレーのお話が大変為になりました。「カレーを作る」というシンプルな課題を通して、社会人として相手のことを考え先を見据えて行動する重要性を学ぶことができました。また人の気持ちの変化に気づける感性や情報を集める為の人脈作りの大切さも気づくことができました。そうしたお話を伺う中で、感性を磨いて些細なことにも気が付ける女性になりたいと思いました。

私には現在特に具体的な夢がなく、不安な気持ちをもっていました。そんな中で今回高野先生のお話を伺い、ちょっとした事に興味をもつところから始めれば良いと学び、大変勉強になりました。自分の行動や身の回りの物事を意識して見つめ直し、やりたいことや夢を見つけるきっかけとしたいです。

どのお話も自分が成長していくのに大切な話ばかりでしたが、特に心にささったのは、NOと言わない勇気・NOと言える勇気についてのお話です。「自分がたくさんやらなくてはいけないことがあるときに、さらに仕事を任された場合も、NOとは言わない。なぜならそれをやりきることで自分のスキルアップに繋がるかもしれないから。」このお話を聞いて、今の自分はそれができていないからいつまで経ってもスキルアップ出来ずにいるのだと気づかされました。

高野先生のお話を聞いたことで今後の自分の将来が少し見えてきました。今後それを実現できるようにあと2年後の学生生活、多くのことを学ぼうと思いました。

高野先生のお話の中で最も印象的だったのが、「感性は学校では教えてもらえない。自分で磨くものだ。」ということです。視野を広げて考えを柔軟にすることが重要なのだと学びました。2年後に就活を迎える私にとってとても参考になるお話でした。ありがとうございました。

30分程で教えてくださった内容がここまで鮮明に記憶に残ることはあまりなく、カレーライスを作るという一連の流れがそのまま上司から頼まれた仕事をこなす順序に置き換えられたことでここまで深く印象に残ったのだと思います。今回のお話は社会人になってから、上司に仕事を頼まれたら必ず思い出して確認するでしょうし、今回学んだからには上司が自分に頼んだ仕事を残念な結果に終わらせることがないようにしたいと強く感じました。